



浜 都 整 第 5 6 1 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

小 浜 市



今後の道路行政についての意見・提案について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、当市の道路行政に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今後の道路行政について検討されます、新たな中期計画の策定作業をはじめ、各種計画の策定、事業評価のあり方、事業の進め方などにつきまして、別紙のとおり提出させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福井県小浜市

平成21年度以降も引き続き、必要な道路整備や交通安全対策、維持管理が停滞することなく、着実に推進できるように必要な予算の確保をお願いしたい。

買い物、通勤・通学など日常生活を支える生活道路の整備、通学路の歩道整備やバリアフリー化、交通安全対策を着実に推進するための「まちづくり交付金事業」の補助率アップを行い、地方における財政負担の軽減をお願いしたい。

地方財政は貧乏している中で、一般財源化による道路特定財源諸税歳入の減収により、道路や橋梁の維持補修費、除雪経費の削減の恐れがあるために、今までどおりの交付をお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１地域の現状と抱える課題

福井県小浜市

○現状

若狭地方を縦断する幹線道路は現在の所国道２７号のみであり、その中心に位置する小浜市は、県庁所在地である福井方面、京阪神方面等への移動には相当の時間を要し、緊急時の対応や産業・経済・文化活動への影響が大である。

高規格道路舞鶴若狭自動車道については、平成１５年に小浜西インターチェンジまで供用され、敦賀までの供用は平成２６年の予定となっている。これが完成すると関西・北陸・中京圏とのネットワークが形成され、若狭地方の経済発展に大いに貢献する。

国道２７号は平成７年に発生した阪神・淡路大震災以来、九州・中国地方からの大型車両の通行が大幅に増加していることなどで渋滞が頻繁に生じている。そして、狭小な歩道、段差、歩道未整備区間もあり歩行者が大変危険な状況である。また、老朽化した橋梁（湯岡橋）もあり、本線が通行不能となると若狭地方に与える影響は計り知れない。

国道１６２号は京都府南丹市、おおい町、小浜市、若狭町を結ぶ道路で山間地を多く通っており、急峻で幅員も狭く、崩落事故（相生地係）も発生している。また、老朽化した橋梁（大手橋・西津橋）もある。

○課題

高規格道路舞鶴若狭自動車道については、敦賀までの供用が平成２６年の予定であるが、一日も早い供用開始が必要である。

国道２７号については早期に未歩道区間の整備や渋滞区間の局部改良が必要である。

国道１６２号は老朽化した橋梁（大手橋・西津橋）の改修や崩落箇所（相生地係）周辺のパイパス整備が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②-② 地域の目指すべき将来像

福井県小浜市

高規格道路舞鶴若狭自動車道の供用開始に伴い、交通量の増加が予想されることから、広域交通網の整備にあわせたバイパス道の整備の促進を図るほか、安全かつ人にやさしい快適な道路環境の実現に向け、地域の道路状況や日常生活圏との整合を図りながら、地域間を結ぶ生活道路と交通体系の整備を進める。

- ・ 高規格道路舞鶴若狭自動車道の供用開始にあわせ、インターチェンジを中心としたアクセス道路の整備を進め、市内の道路交通ネットワークの形成を図る。
- ・ 国道27号については、交差点の改良を行い、交通渋滞の解消を図るとともに、未歩道設置区間の整備行う。
- ・ 国道162号については、老朽化した橋梁（大手橋・西津橋）の改修や崩落箇所（相生地係）周辺のパイパス整備を図る。
- ・ 県道については、高規格道路舞鶴若狭自動車道から中心市街地へのアクセス道路としての機能向上に取り組むとともに、国道27号および162号へのアクセス道の整備を促進し、道路ネットワークの充実を図る。
- ・ 市道については、高規格道路舞鶴若狭自動車道および若狭西街道の整備に併せて、道路の整備を推進し、ネットワークの充実を図るとともに、生活道路の拡幅改良、側溝整備など道路環境の整備や交通安全施設の設置を進め、安全で快適な道路環境の整備に努める。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福井県小浜市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上 ・ 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・ 少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・ 平成21年に国道162号の阿納尻・田烏間の整備が完成する。その道路に繋がる加尾・西小川・宇久間の市道を県道昇格させて、整備促進を図る。 ・ 近年鹿、いのしし、あらいぐま等が増加し衝突事故が多発しているので、よく出没する箇所に獣害柵設置を行う。 ・ 市街地区域において、今後の高齢化社会に対応するべく、高齢者が安心して安全に外出できるように、公共施設や商店街周辺をバリアフリー化するために歩道をマウンドアップ形式から、フラット形式への推進と、ベンチ等の休憩施設設置を行う。	・ 観光面や海産物の鮮度確保等の産業面での発展に寄与する。 ・ 通行車両の交通安全が図れる。 ・ 生物愛護の面でも、大きく寄与する。 ・ 歩行者等が安全かつ快適に道路を通行できるようになることは高齢化社会において重要なことであり、高齢者・障害者など誰もが安全に安心して社会参加ができる。	